自分自身の立場を明らかにしながら，明確な理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく書いて伝える活動。また，書いた内容を読み合い，質疑応答をしたり，意見や感想を伝え合ったりする活動。

② 言語の働きに関する事項

「英語コミュニケーションⅠ」の２の(3)の②と同様に取り扱うものとする。

3 内容の取扱い

「英語コミュニケーションⅡ」の３と同様に取り扱うものとする。

第４ ディベート・ディスカッションⅠ

1 目 標

英語学習の特質を踏まえ，以下に示す，話すこと［やり取り］の領域において設定する目標の実現を目指した指導を通して，第１款の(1)及び(2)に示す資質・能力を一体的に育成するとともに，その過程を通して，第１款の(3)に示す資質・能力を育成する。

(1) 話すこと［やり取り］

ア 日常的な話題や社会的な話題に関する論題について，使用する語句や文，議論の展開などにおいて，一定の支援を活用すれば，資料を的確に活用し，多様な語句や文を用いて，賛成又は反対の立場をとった上で，論理的に一貫性のある議論を展開することができるようにする。

イ 日常的な話題や社会的な話題について，使用する語句や文，議論の展開などにおいて，一定の支援を活用すれば，資料を的確に活用し，多様な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝え合うことができるようにする。

2 内 容

〔知識及び技能〕

(1) 英語の特徴やきまりに関する事項

第２章第８節第２款の第４の「論理・表現Ⅰ」（以下この節において「論理・表現Ⅰ」という。）の２の(1)に示す事項について，この科目の１に示す，話すこと［やり取り］の領域における目標を達成するように取り扱うものとする。

〔思考力，判断力，表現力等〕

(2) 情報を整理しながら考えなどを形成し，英語で表現したり，伝え合ったりすることに関する事項

具体的な課題等を設定し，コミュニケーションを行う目的や場面，状況

などに応じて，情報を整理しながら考えなどを形成し，これらを論理的に適切な英語で表現することを通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 日常的な話題や社会的な話題について，伝える内容を整理し，英語で話したり書いたりして，要点や意図，論理の展開などを明確にしながら，情報や自分自身の考えなどを話して伝え合うこと。

(3) 言語活動及び言語の働きに関する事項

① 言語活動に関する事項

(2)に示す事項については，(1)に示す事項を活用して，例えば，次のような話すこと［やり取り］の言語活動及び複数の領域を結び付けた統合的な言語活動を通して指導する。

ア 話すこと［やり取り］

(ｱ) 日常的な話題や社会的な話題に関する論題について，必要に応じて，使用する語句や文，やり取りの具体的な進め方が示される状況で，論証文や英文資料などを読んで，論点を整理するとともに，それらを活用して自説の優位性を示す情報や考えを詳しく話して伝え合ったり，相手の意見に質問や反論したりするディベートをする活動。また，やり取りした内容を踏まえて，自分自身の考えなどを整理して発表したり，文章を書いたりする活動。

(ｲ) 日常的な話題や社会的な話題について，必要に応じて，使用する語句や文，やり取りの具体的な進め方が示される状況で，スピーチや講義，英文資料などを聞いたり読んだりして，論点を整理するとともに，それらを活用して情報や自分自身の考えを適切な理由や根拠とともに詳しく話して伝えたり，他者の意見に適切に応じたりするディスカッションをする活動。また，議論した内容を踏まえて，自分自身の考えなどを整理して発表したり，文章を書いたりする活動。

② 言語の働きに関する事項

「英語コミュニケーションⅠ」の２の(3)の②と同様に取り扱うものとする。

3 内容の取扱い

(1) コミュニケーションを図る資質・能力を育成するためのこれまでの総合的な指導を踏まえ，ディベートやディスカッションなどの言語活動を中心に，情報や考えなどを伝え合う能力の向上を図るように指導するものとする。